

空家の資材譲り受け古材や調度を販売

10月21日 議員勉強会

リビルディングセンタージャパン(リビセン)の取組を学ぶ

REBUILD
NEW CULTURE

古くて、
たのしくて、
あたらしい。

リビセンのとりくみ

RESCUE

レスキュー
(買い取り)



建物の解体やお片づけの現場に、大家さんから直接連絡をいただいております(または持ち込んでいただいても、行き場を失ってしまったものをレスキューしています。環境負荷を減らしゴミを減らしていく、わたしたちの活動の要です。

SHOP

古材と古道具
とカフェ



レスキューしてきたものは、誰かが大切にしてきたもの。そのものの良さがきちんと伝わるよう、店頭でディスプレイし、販売しています。古材のことは分からなくても、おいしいごはんやコーヒーが飲めるカフェもあるので、お気軽にどうぞ。

DESIGN

古材を使った
デザイン



レスキューしてきた古材やその場所から出た古材を使った、お店のデザイン、オリジナルプロダクトの製作などを通じて、古材のもつ新しい価値を提案しています。また、エネルギー負荷を減らす高気密高断熱のエコハウスもつくっています。

上越市議会は、議員の資質向上をめざして議員勉強会を定期的に行っています。10月21日には、長野県諏訪市に本拠を構えて空家資材のリデュースなどに取り組んでいる事業所「ReBuilding Center JAPAN(リビルディングセンタージャパン)」の取組を、代表取締役の東野唯史氏とオンラインで結んで学びました。

この会社は、上の資料にある通り、解体した空き家の古材や調度を再生して販売したり、古材を使ったエコハウスをつくったりと、環境負荷を減らす建築設計などを行って

います。

一昨年からは、諏訪地域の空き家活用にも取り組みはじめ、地域資源が循環する仕組みづくりのサポートも行っています。

上越市でも、増える一方の空き家が問題になっています。この空家を「困った存在」ととらえるのではなく、「重要な資源」ととらえて再利用、再資源化することができれば、夢は広がります。学びがいのある勉強会でした。

日本共産党としんぶん赤旗が大激動をつくり出し、自公が過半数割れに

10月27日に投開票が行われた第50回衆議院議員総選挙は、「しんぶん赤旗」がスクープし、日本共産党が国会で追及してきた裏金問題や裏公認問題などで国政が大激動を引き起こす中で闘われました。

その大激動の中で、自民党と公明党の

行政の“本気度”が違う松本市の取組

「まつもとゼロカーボン実現計画」学ぶ 厚生常任委員会 厚行政視察

市議会厚生常任委員会(平良木議員が副委員長として所属は、10月7日からの3日間)松本市、大阪市、山口県をまわる管外行政視察を学びました。

このうち、松本市の温室効果ガス削減の取組では、行政が主体になって4つの柱で具体的な行動を起こしている姿を学びました。

4つの柱の内の「条例制定」では、公共交通を積極的に使うこと、プラスチック製品や包装資材の使用を減らすこと、食品ロスを極力無くすることなど、市民行動を促す内容であり、思い切った市民の協力を求めています。

また、再生可能エネルギーで生み出した電力を実際に普及するための地域エネルギー会社を、地元企業に呼びかけて設立しています。

こうした積極的な取組で、市を挙げて脱炭素に向かっていく姿がありありと見えました。背景には行政、特に市長の“本気”の姿勢が感じられました。この“本気度”の差が、当市との取組の差となっているのでは？

松本市の脱炭素プロジェクト“4本柱”

◆松本市ゼロカーボン実現条例

- ▶2050ゼロカーボンの実現を目指す理念条例で、R4年6月議会で制定
- ▶第11条(太陽光発電の適正導入)を規定する新たな条例をR6.4から施行

◆松本平ゼロカーボン・コンソーシアム

- ▶産学官金連携の組織としてR4年2月に設立
- ▶123団体が参加(R6.8月末現在)

◆地域エネルギー事業会社

- ▶電力小売事業や再生可能エネルギーの導入に関する事業で中心的役割
- ▶地元企業が中核となり、R6年8月設立

◆脱炭素先行地域(モデル形成)

- ▶山型
乗鞍高原地域が脱炭素先行地域に採択
- ▶街型
波田駅周辺地区で再エネ導入等を検討

日本共産党上越市議員団ニューズ

No.847 2024年11月3日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

与党は過半数に届かず465議席中218議席(46.9%)にとどまりました。

自公政治による国民生活への圧迫が、国民の怒りとなって表出したものと言えます。

ただ、議席を伸ばした「野党」のいくつ

かは基本的に自民党の補完勢力であり、国民生活の向上につながるかは疑問です。

なお、この選挙で日本共産党は8議席を獲得しましたが、公示前の議席(10)を確保することができませんでした。